

# HOKKAIDO

建築士会

女性委員会



平成12年9月1日

編集発行 女性委員会

〒060 中央区北4条西5丁目 三井生命共同ビル (社)北海道建築士会 ☎ 011-251-6076

## 全国女性建築士連絡協議会報告!

7月21,22日の東京は、どんより空で、暑く、そこに300名を越える女、女、女ですから、おはさん熱気ムンムンです。今年のテーマは「地域の環境と共生する居住環境づくり」で、講演は産設省の真鍋氏「住宅性能表示制度について」でした。実務に直結することなので、皆んな真剣?に聞いていたようです。地域活動発表ではそれぞれのユニークさが目立ちました。分科会(8)では、活発な意見交換が行われ、地域差がある中にも、共通点があったりして、有意義な内容でした。

記 山本



A分科会 環境と共生する住宅に参加して

兵庫の女性委員会の活動報告として

\*環境問題を意識して、エネルギー、ゴミ、というテーマを選択

アプローチとして、省エネ(自然エネルギーの活用)材料の耐久性、安全性(健康住宅)、緑の効用(緑化の手法)等があげられていました。

私達の身近なところでも、原子力発電、ゴミ処理場等があり、女性建築士の枠を超えた社会問題として、取り組んでいくテーマであることを認識して帰ってきました。

常々ゴミに関しては、何で我が家ではこんなにゴミが出るのか、何とかせねば、と思っていましたのでこれを機にゴミ問題を追及してみたいと思います。

記 富所

### ●地域活動報告発表●

昨年のアンケートから子供と住環境について「こども家、HOKKAIDO」嵯田さんより発表されました。北海道の地域性と年代による子供の生活の変化をまとめたもので、子供に視点と当てた内容に高い評価の声がありました。皆様のご協力の成果と感謝しています。このテーマは引き続き行う予定ですので、今後ともよろしくお願ひいたします。

●報告の資料有ります。ご希望の方は山本まで……。



### E.分科会「集って住む、コレクティブ、コーポラティブ」

兵庫・岡山他各地の取組が発表され、行政とタイアップしながら、着実に何けて、真知に取組がなされて居ります。計画、設計を進めてゆく中で、資金面、採算面(100%の利用率が得られるか?)などの問題もあきあきとあるようです。記、前田。

F分科会「社会啓発および子供と街づくり」岡山会は絵マップコンクール開催の様子を基に、土会が今後かかわりたい気持や街づくり、心づくり、人づくりについての発表でした。兵庫工会は、6年生の時に考え出す夢、左官職人の手ほどきを受け、建築とほろろ考え楽しむ街からの実践的発表でした。子供を通じて社会貢献を叫んでいる前向きな取り組みに感じました。

道南Bブロック 小形 三子



# 女性建築士の集い in 九日川

7月15日 九日川市大雪クリスタルホールにて開催  
 講演「少子高齢社会における住生活環境」  
 講師 北海道浅井学園大学教授 小川信子氏

1. 人間と環境 ~子どもと人の確とすまい、子どもの自立
2. 生命の不思議 ~胎内環境
3. 子どもにとっての家族
4. 子どもとすまい
5. 子どもにとっての生活環境
6. ロバート・オーエン、モンテソリー、エレン・テイ、シュタイナーの思想を今なぜ再考するか

3時間たっぷり講演に参加者感教!!



小川教授

「スウェーデンでは核家族化が進むにつれて、子供も高齢者も心身ともに健康に暮らすための生活環境について検討が開始され、

も利用できる食堂や洗濯室、談話室、保育施設、工作室、カフェテリアなどの共同施設も備わっている。

自立を基本としているが、行政サービスはもちろん、居住者がお互いに助け合える環境も整っている。

あるコレクティブハウスの例では、幼い子供が二人いる夫婦は仕事から戻ると子供をハウスの保育施設に預け、食事は働きに出ている母親が作らなくても食堂で済ませられる。その食堂は食事の支度が困難なお年寄りや障害者のほか、一般の家族も利用可能。また、談話室には一人暮らしの高齢者と子供がおしゃべりやゲームをしたり、カフェテリアではお菓子作りやクールのメンバーが集まる人々にワッフルを振る舞う姿も見られた。緊急時に備え二十四時間体制の

一九三〇年代にはコレクティブハウスの二棟が完成している。コレクティブハウスとは集まって住むこと。マンションや団地などの集合住宅のような形態だが、施設内には、住居以外に誰でも利用できる食堂や洗濯室、談話室、保育施設、工作室、カフェテリアなどの共同施設も備わっている。

自立を基本としているが、行政サービスはもちろん、居住者がお互いに助け合える環境も整っている。

あるコレクティブハウスの例では、幼い子供が二人いる夫婦は仕事から戻ると子供をハウスの保育施設に預け、食事は働きに出ている母親が作らなくても食堂で済ませられる。その食堂は食事の支度が困難なお年寄りや障害者のほか、一般の家族も利用可能。また、談話室には一人暮らしの高齢者と子供がおしゃべりやゲームをしたり、カフェテリアではお菓子作りやクールのメンバーが集まる人々にワッフルを振る舞う姿も見られた。緊急時に備え二十四時間体制の

（約）北海道建築士会女性委員会では七月十一日、旭川で「女性建築士の集い」を開催。スウェーデンの児童施設などの研究を行っている北海道浅井学園大学人間福祉学部の小川信子教授が「少子高齢社会における子供の住環境と子供とコレクティブハウス」というテーマで講演を行い、スウェーデンのコレクティブハウスを少子高齢社会における理想的な住まいの一つとして紹介した。講演要旨は次の通り。

あるコレクティブハウスの例では、幼い子供が二人いる夫婦は仕事から戻ると子供をハウスの保育施設に預け、食事は働きに出ている母親が作らなくても食堂で済ませられる。その食堂は食事の支度が困難なお年寄りや障害者のほか、一般の家族も利用可能。また、談話室には一人暮らしの高齢者と子供がおしゃべりやゲームをしたり、カフェテリアではお菓子作りやクールのメンバーが集まる人々にワッフルを振る舞う姿も見られた。緊急時に備え二十四時間体制の

高年齢者にとっては一人暮らしの不自由さや寂しさから解放され、子育て中の夫婦は相互関係を持てる住まいの中で育児を行える魅力がある。回国では経済的にも社会的にも子供を生み育てていく環境が整い、出生率が向上した。子供を育てるのが親の責任であることは確かだが、親だけではなく地域や国全体が子供を育てるといふ発想がある。

## 魅力的なコレクティブハウス 子育てに理想の環境

道浅井学園大 小川信子教授

- 小川信子プロフィール
- 1952.3 日本女子大学家政学部生活芸術科住居専攻 卒業
  - 東京工業大学工学部建築学科 (清水研究室 研究生)
  - 東京大学工学部建築学科 (吉武研究室 研究生)
  - スウェーデン王立工科大学客員研究員
  - 早稲田大学理工学総合研究所 客員研究員
  - 現在
    - 北海道浅井学園大学教授
    - 日本女子大学名誉教授
  - 学会活動、社会活動
    - 日本建築学会会員、UIFA JAPON (副会長)
    - 日本家政学会会員
    - 日本生活学会会長
    - 建築審議会委員、その他多数!

事務室があり、高齢者を介護するヘルパーの休憩室もある。ここは夕方五時までが市の運営、それ以降が自治となる。

高年齢者にとっては一人暮らしの不自由さや寂しさから解放され、子育て中の夫婦は相互関係を持てる住まいの中で育児を行える魅力がある。回国では経済的にも社会的にも子供を生み育てていく環境が整い、出生率が向上した。子供を育てるのが親の責任であることは確かだが、親だけではなく地域や国全体が子供を育てるといふ発想がある。

小川教授は最後に「子供の環境を心から良くしよう、守っていく」というのが女性の本能であり、その意味で女性建築士の社会的役割はとても大きい。豊かな住環境の整備に向けてがんばっていただきたい」とエールを送った。

見学会(三浦綾子記念館)に参加し、道央町の三浦綾子記念館の建物(木立の中)にあり周囲の風景ともあわせてとても良い環境だと思いました。又、中に入っからは三浦綾子さんの作品の展示や、氷点の作品のテレビ放送や映画があんなに何作も作られていた事を知ったりととても楽しい見学会でした。ただ、時間が足りなくてゆっくりに見られませんでしたのでもう一度見たいと思っています。



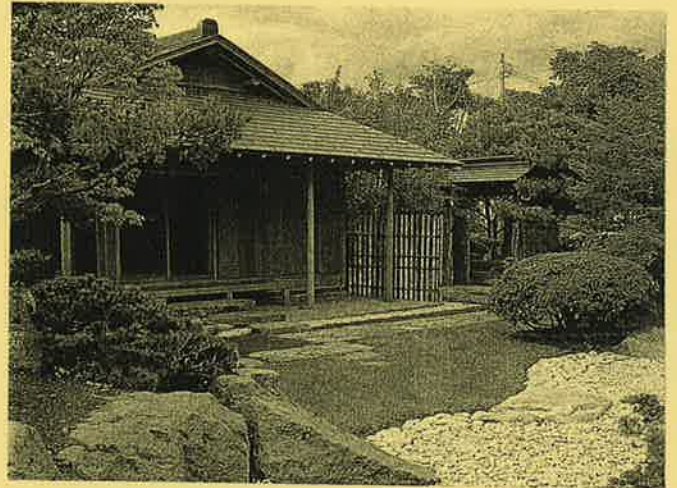
道央ブロック活動報告 **川樽支部**  
初山香代

川樽支部女性部会恒例のビデオ鑑賞会  
を3月11日 7名の参加で行いました。  
今回は大成建設さんの秘蔵ビデオ4本  
でした。ザ・シンフォニーホール響・北京・オン  
グラホテル、中でもコンピュータグラフィックスを  
駆使した古代都市の再現、特に給水・  
排水の地形を利用した工法には目も  
見張るものがありました。

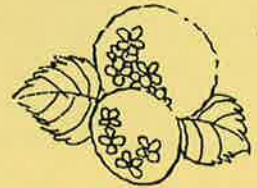


**茶室建築** ～鶴翔庵にて

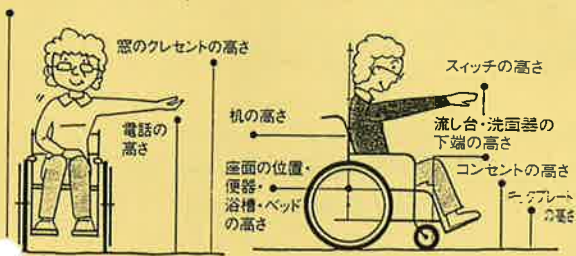
釧路市鶴の谷公園内に十数年前建てられた茶室をあらためて  
見学する企画がもち上がり、当時の設計者である長谷川氏を講師  
に迎え手法等を学ぶこととなりました。役員準備にお茶も  
ふるわれ、6月初旬 緑輝く 清々しい天候のもと、20数名  
の参加者とともに、中たれた時間の流れを過ごすことが  
できました。現代のたたまいを手かけるうえでも 古典の豊か  
に感銘し、露地の風情に心洗われる経験も 実ある趣向  
だったのでは……



楽しいひとときでした。  
《道東A 奥山》



樹・吊り戸の高さ



“アンコールワットを訪ねて来ました。”

カンボジア→ポルポト→地雷のイメージを持ち  
着いた。アンコールワットのある都市シェムリアップにあつた  
ものは、荘厳な遺跡群と青い空、なほとも可愛……  
る児童の笑顔でした。

繁栄の歴史、自然の驚異、人々のたくましさ、信仰  
各国の協力、もちろん建築、どの観客からとらえても  
興味深し。特に日本から流出したステキな  
若者捜しや危険な高い場所捜しなどには、  
より大きな満足感を得られる事請合いです。

満場の拍手の中 アンコールワットの中央から昇る朝陽  
は、スズリに味わった 感動でした。

九田支部 媚山

講習会 『住宅改修』

～なぜ「住まい」の工夫や改善が必要なのか？～

6月29日(木)、理学療法士の岡田しづみ氏を講師に  
お迎えして、お話しを伺いながら実際に車イスを操作したり、  
片マシの疑似体験をまじえての講習会でした。

障害や病状によって 段差・スロープ・手すりなど 考える基準  
が多様にあることを実感しました。2回目も考えています。  
道央Aブロック 七かし。



# 見学会へのご案内

## 『秘密の基地づくり-2』

○子供達がグループをつくり、自由にイメージする  
"自分達の基地"づくり。

とき 9月10日(日) 9:00 ~ 16:00

ところ 滝川市 大加 高森市 有林 (ジギスカン付)

主催 (社)北海道建築士会空知支部、滝川分会女性部会

連絡先 0125-24-0113  
神部さんまで

## 『古材を活用した住宅づくり』

○三笠市の武部建設さんが建設した「古材ギャラリー」  
「モデルハウス」「住宅」を見学。

とき 10月中旬予定 (日時決定後ブロック長さんに連絡)

ところ 三笠市、岩見沢市 (中華料理で「昼食会」)

主催 (社)北海道建築士会女性委員会 (環境共生部会)

連絡先 011-562-0521  
山本まで

## 連合会の動き

平成12年度より、組織改革され、11委員会が8委員会に統合。  
各部会単位で、企画・運営を行うこととなりました。  
女性委員長は小谷部育子君(東京)が、鍵野洋子君より引継ぎました。

早川 陽子

## おしらせコーナー

### ○第43回建築士会全国大会(鳥取大会)

テーマ「21世紀のエコリング」  
～人と自然が共生できる社会をめざして～  
日・時 平成12年10月26日、27日

### ○高齢者等住宅改善実務研修会

9月11、12日 留萌支庁 講堂  
10月14、15日 函館 未来大学  
11月14、15日 網走支庁 講堂  
12月6日 札幌、道庁別館地下1階  
会議室

(7-7ショップが面白いよ)

## 福祉住環境 コーディネーター 検定試験

受験資格 学歴、年齢、性別、国籍に制限なし  
試験日程 11月5日(日)  
試験地 札幌・旭川・札幌  
申込期間 9/6(水) ~ 10/6(金)  
(級) 2・3級  
申込先 03-3283-7733



## 本コーナー

### 1. 生活環境の探求

(小川信子の世界)  
ドメス出版 2000円+税

日本女子大学住居小川研究室の会、

持田さんオススメ

### 2. 高齢社会にむけて...

#### こたわりのマイホームプラン集

前田重一・前田邦江 著  
久美株式会社 2400円+税

前田さんご紹介  
(札幌)

### 3. 居住福祉 早川和男 著

岩波新書 660円

東道屋さんオススメ

クラーのない我輩の所は  
窓を開け放しの夏でした。  
アミ戸もはずしていくらだった。  
乗年はクラーを付けるゾーツ  
仕事にならないモノ～ン。

A-Y



## ＝ 編集後記 ＝

全建女全体会での発表について、「北海道、こども、家」の  
取組について、これからの視座として、良い評価をいただき、  
建築は、芸術、科学、生活の総合学習に根ざしているもので  
昔は、家族的日常生活の中で、自然に習得し、人間形成に  
大きな影響力を持っていたのかもしれない。  
今後、全建女の協議会に多くの人に参加してほしいとの思いで  
特集しました。数多くの寄稿ありがとうございました。  
山川先生の講演会、見学会も多くのものと好評、旭川の皆様に  
感謝します。次号は全道大会特集です。寄稿のねらいは、  
暑さには負けず、若さにかんぱりましょう。〈道央Aブロック〉

前田富子、東道尾、  
山本明恵、持田容子